

行 政 報 告

第3回町議会臨時会開会にあたり行政報告を申し上げます。

このたび執行されました町長選挙におきまして、無投票により4期目の町政を担わせていただくこととなりました。町民のみなさまから引き続き町政を託していただきましたことに心から感謝申し上げますとともに、その信任の重みを深く受け止め、身の引き締まる思いであります。4期目就任後、初めての町議会開会にあたり、今後の町政運営に対する基本姿勢と決意を申し述べます。

私は、平成26年7月の就任以来、「町民が主人公」を信条として、町民のみなさまの声に耳を傾け、議員各位、そして職員と力を合わせながら町政運営に取り組んでまいりました。この間、北海道新幹線長万部駅の高架化をはじめ、防災・減災対策、子育て支援や福祉の充実、高校生を含めた児童生徒の給食費の無償化など、将来を見据えたまちづくりを進めてまいりました。これもひとえに、町民のみなさま並びに議員各位の温かいご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

一方で、本町を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、物価や建設資材価格・人件費の高騰など、大きく変化しております。さらに、北海道新幹線札幌延伸の開業時期が2038年度以降へ延期されたことは、本町のまちづくりにも大きな影響を及ぼしております。しかしながら、このような状況であっても、本町の未来に向けた歩みを止めることはできません。

私は、この期間を将来への備えを進める重要な時間と捉え、駅周辺整備などを計画的に推進し、新幹線開業の効果を最大限に町の発展へ結び付けられるよう取り組んでまいります。また、将来を見据え、持続可能な町政運営と健全な財政運営を基本に据えながら、必要な施策を着実に進めてまいります。

本町では、新幹線関連事業や公共施設の維持更新、防災・減災対策など多くの財政需要が見込まれます。将来世代に過度な負担を残すことのないよう、中長期的な財政見通しを踏まえ、限られた財源を効率的に活用し、真に必要な施策を見極めながら町政運営に努めてまいります。

また、新幹線物流と貨物ターミナル駅の実現に向け、町議会や北海道新幹線建設促進長万部町期成会をはじめ関係機関と連携し、本年は北海道及び国土交通省鉄道局などへ要望活動を行い、本町の決意を直接お伝えすることができました。その実現には時間を要しますが、50年先、100年先を見据えた長万部町の未来のため、決して歩みを止めることなく挑戦を続けてまいります。

このたび立候補を決意するにあたり、自身の年齢や体力面については十分承知しているところであります。しかし、それ以上に、長万部町の未来に対する責任と使命を強く感じ、これまで進めてきたまちづくりを次の世代へ引き継ぐことが、私に課せられた責務であるとの思いから、引き続き町政を担わせていただく決意をいたしました。

私に与えられた使命は、今だけではなく、未来の長万部町に責任を持つ町政運営を行うことであります。4期目は、まちづくりの仕上げではなく、次の世代へ希望をつなぐ4年間であります。若い世代が夢や希望を持ち、自らまちづくりに参加したいと思える長万部町を目指し、これまで以上に創意工夫を重ねながら町政を進めてまいります。

4期目にあたりましても、初心を忘れることなく、町民のみなさまとの対話を大切にし、現場の声に真摯に耳を傾けながら、議員各位のお力添えをいただき、職員と心を一つにして、与えられた4年間の任期を、町民の生命と財産を守り、安心・安全な住みよいまちづくりの実現と、未来へ責任を果たすため、一日一日を大切に職責を全うしてまいります。

議員各位並びに町民のみなさまにおかれましては、なお一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、就任にあたっての行政報告といたします。